

凧たこあがれ！天まであがれ！

新年明けましておめでとうございます。昨年末からお正月にかけて晴天が続き、穏やかな2024年の幕開けとなりました。一方、元日に突然飛び込んできた能登半島地震の発生には大変驚きました。熊本地震を経験している私たちですが、改めて自然災害の恐ろしさを実感し無力感に苛まれる思いです。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りします。

さて、本校は1月9日に令和6年度後期が再開し、久しぶりに子どもたちのにぎやかな声が校舎に戻ってきました。そんな中、先日、本校のグラウンドに自分たちで手作りした凧をあげる子どもたちの姿がありました。凧あげは昔から親しまれた正月遊びの一つですが、凧が高くあがるほど神様に近づくので願いが叶い子どもが元気に育つといわれているそうです。あいにく当日は風がほとんど吹かず、子どもたちは凧をあげるために、まるで「マラソン大会本番！」のように走り回っていました。時に肩を大きく上げ下げして息を整えながら、しかし、走った分だけ確実に上がっていく凧の様子がうれしいのか、夢中になって何度もグラウンドを駆けまわった子ども。たこ糸から伝わる振動をしっかりと感じながら先生と手をつないで走る子ども。笑顔いっぱい満足気な子どもたちを見ながら、新年が始まって少し疲れがたまりつつある私自身の心も、子どもたちの凧と同じようにふわふわと心地よく空に舞う気分になりました。まさに今年は辰年。昇り龍のごとく、そして元気に空を泳ぐ凧のように、子どもたちもさらに明るくたくましくあってほしい。そう願いながら、今年も、保護者の皆様、地域の皆様と連携を図りながら、子どもを中心に据えた教育活動を展開していきたいと思えます。



今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年1月 荒尾支援学校長